

令和2年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学年	分野	科目名	担当教員	開設	単位数	時間数	授業区分	
1年	基礎分野	心理学	医療機関において臨床心理士としての経験を踏まえ、自己理解・他者理解について、心理学の基本的知識を教授する。	前期	1	30	講義	
		自己啓発演習	看護師としての臨床経験を踏まえ、さらに実践行動学プログラムの公認ファシリテーター認証を受けた者が、目標達成のためのプロセスについて教授する。	前期	1	30	講義	
	専門基礎分野	生化学	医療機関において薬剤師としての経験を踏まえ、生命活動を営むための基本な原理と物質代謝の機序について概説する。	前期	1	30	講義	
		生理学	医療機関において臨床医の経験と生理学の基礎研究での経験を踏まえて、人体の機能について概説する。	前期	2	60	講義	
		病理学	医療機関において臨床医と病理部での経験を踏まえて、疾病の原因となる個々の病変を理解するうえで必要な事柄について概説する。	前期	1	30	講義	
		病態生理学Ⅰ	医療機関において臨床医としての経験を踏まえて循環器系、呼吸器系、消化器系の主な病態・診断・治療について教授する。	後期	1	30	講義	
		病態生理学Ⅱ	医療機関において臨床医としての経験を踏まえ血液・造血管系、脳神経系（主に神経系）、内分泌、アレルギー、膠原病についての主な病態・診断・治療について教授する。	後期	1	30	講義	
		病態生理学Ⅲ	医療機関において臨床医としての経験を踏まえて、脳神経(主に脳)系、運動器系のおもな病態・診断・治療について教授する。	後期	1	30	講義	
		病態生理学Ⅳ	医療機関において臨床医としての経験を踏まえて、腎、泌尿器系、女性生殖器系、乳腺の主な病態・診断・治療について教授する。	後期	1	30	講義	
		病態生理学Ⅴ	医療機関において臨床医としての経験を踏まえて、外傷、化学療法、放射線療法、手術療法を理解するうえで必要な基本的な事柄について教授する。	後期	1	30	講義	
		栄養食事療法	医療機関において管理栄養士としての経験を踏まえて、展開、健康維持・増進・回復・予防のための生命に必要な基本的な栄養学の知識について教授する。	後期	1	30	講義	
		薬理学	医療機関において薬剤師としての経験を踏まえて、薬物療法の基礎となる知識について教授する。	後期	1	30	講義	
		微生物学	大学の細菌(微生物)学教室での経験を踏まえて、ヒトに病気をおこす病原微生物の基本的な知識について教授する。	後期	1	30	講義	
		臨床検査	医療機関において臨床医としての経験を踏まえて、疾病や病態、経過を判断するために臨床検査の基本的な知識を教授する。	後期	1	30	講義	
	専門分野Ⅰ	基礎看護学 概論	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、人間・健康・環境を理解した上で看護の機能や役割、看護倫理、責任について社会状況と合わせ教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅰ	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、看護過程の基本的な知識を教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅱ	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、バイタルサインの測定、フィジカルアセスメントの基本技術について教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅲ	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、コミュニケーションの基本的な事柄と感染管理に必要な基礎知識について教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅳ	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、対象の療養生活の環境と人間の活動・休息について、人間にとっての意義及び対象に合わせた援助の実際を教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅴ	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、衣生活・清潔の意義を理解し必要な基礎知識と援助の実際を教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅵ	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、食事の排泄の意義について理解し、必要な基礎知識と援助の実際を教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅶ	医療機関において看護師、臨床医の経験を踏まえて、生命維持に必要な一次救命処置についての基礎知識と援助技術の実際を教授する。また、診療の補助技術である与薬、輸血管理について必要な基礎知識と援助の実際を教授する。	後期	2	60	講義・演習	
		臨床看護論	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、看護の対象者の状況に応じた基礎知識を教授する。また、健康障害の経過に沿った対象の特徴と援助の実際を教授する。	後期	1	30	講義・演習	
		基礎看護学 実習Ⅰ	医療機関において看護師・助産師の経験を踏まえて、対象に日常生活援助の体験を通し、看護師に必要なコミュニケーション技術及び対象者を取り巻く環境について指導する。	前期	1	45	実習	
		成人看護学 概論	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、成人の特徴と成人各期の健康問題について教授する。	後期	1	30	講義・演習	
		老年看護学 概論	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、老年看護の対象と対象を取り巻く環境を理解し老年期の健康問題について教授する。	後期	1	30	講義	
		精神看護学 概論	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、精神看護の特徴と心の健康の危機について対象者や家族への回復・保持増進について基本知識を教授する。	後期	1	30	講義	
		援助論Ⅰ	医療機関において臨床医の経験を踏まえて、精神疾患の概念・病状・分類・治療について概説する。	後期	1	30	講義	
		小児看護学 概論	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、小児看護の特徴と小児各期の発達段階、小児保健、小児を取り巻く医療・福祉の問題について教授する。	後期	1	30	講義	
		母性看護学 概論	医療機関において助産師としての経験を踏まえて、母性看護の特徴とライフサイクルにおける健康問題、リプロダクティブ・ヘルスに関する健康問題と支援の実際を教授する。	後期	1	30	講義	
		計					32	975
	2年	基礎分野	カウンセリング論	医療機関において公認臨床心理士としての経験を踏まえて、基本的なカウンセリング技法について教授する。	前期	1	30	演習
情報科学			医療機関の医学情報室において医療情報技師としての経験を踏まえて、医療における情報とコンピュータについて、基本的な事柄について教授する。	前期	1	15	演習	
専門基礎分野		健康教育方法論	医療機関において臨床経験がある保健師が、健康教育の目的の理解と事例を通しての教育の個別プログラムの作成の指導を通し、健康教育方法について教授する。	後期	1	30	講義・演習	
		リハビリテーション論	医療機関において臨床医、理学療法士、作業療法士、言語療法士の経験を踏まえて、リハビリテーションの理論、機能障害のメカニズム、運動機能評価・予防回復、治療、訓練を概説する。	後期	2	30	講義	
専門分野Ⅰ		基礎看護学 看護研究	医療機関において看護師として取り組んだ臨床研究の経験を踏まえて、看護研究の意義、研究をするための基本的知識について教授する。	後期	1	15	演習	
	基礎看護学 実習Ⅱ	臨床経験を踏まえた看護師が、臨床実習で健康障害をもつ対象について看護過程の技法を展開し、対象に応じた看護実践の基礎的能力を指導する。	前期	2	90	実習		

学年	分野	科目名	担当教員	開設	単位数	時間数	授業区分	
2年	専門分野Ⅱ	成人看護学 援助論Ⅰ	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、循環・呼吸系機能障害のある対象への看護援助の実際について教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅱ	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、周手術期看護、消化・吸収機能障害のある対象への看護援助の実際について教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅲ	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、糖・内分泌代謝機能・血液疾患・体液調節機能障害のある対象への看護援助の実際について教授する。	後期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅳ	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、運動・脳神経機能障害のある対象への看護援助の実際について教授する。また、筋・骨格系・脳神経系のフィジカルイグザミネーションの基本技術について教授する。	後期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅴ	医療機関において看護師としての経験を踏まえて、成人期にある対象の看護について看護過程の展開の技法を用いて教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		老年看護学 援助論Ⅰ	医療機関での看護師としての経験を踏まえて、加齢による身体的・精神的・社会的変化を高年齢者疑似体験を通し理解する。また、コミュニケーションや日常生活上の変化と看護援助について教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅱ	医療機関での臨床医、看護師の経験を踏まえ、加齢による疾患や症状の診断・検査・治療や看護援助について教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅲ	医療機関での臨床経験を踏まえ、様々な健康レベルにある高齢者の理解と健康レベルに応じた生活の場や診断・治療過程における看護援助について看護過程展開の技法を用いて教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		精神看護学 援助論Ⅱ	精神科病棟での看護師としての経験を踏まえ、精神に障がいがある対象の入院時の状態や生活環境、治療環境を考慮することができ、社会復帰に向けての看護援助について教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅲ	精神科病棟での看護師としての経験を踏まえ、精神に障がいがある対象を理解するためのコミュニケーション力や対人関係能力を理解するために、看護過程の展開の技法を用いて看護援助について教授する。	後期	1	30	講義・演習	
		小児看護学 援助論Ⅰ	小児科外来、小児病棟での看護師としての経験を踏まえ、子どもの健康増進のための小児の成長・発達過程の理解と健全な成長発達を促すための看護援助について教授する。	前期	1	15	講義・演習	
		援助論Ⅱ	医療機関での小児科医としての臨床経験を踏まえ、小児期の疾患と症状のメカニズムや検査・診断・治療について教授する。	前期	1	15	講義・演習	
		援助論Ⅲ	小児科外来、小児病棟での看護師としての経験を踏まえ、健康障害をもつ子どもと家族に及ぼす影響や様々な問題に対しての看護援助について看護過程の展開の技法を用いて教授する。	後期	1	30	講義・演習	
		母性看護学 援助論Ⅰ	臨床での助産師経験を踏まえ、女性のライフサイクルにおける母性の健康を脅かす問題とその治療と看護援助について教授する。また、母性看護を実践する上での、ウェルネス思考について教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅱ	臨床での助産師経験を踏まえ、妊娠期・分娩期の看護と母親と家族、生まれてくる子どもにとって安全で幸福な経過をたどれるような看護援助について教授する。	前期	1	30	講義・演習	
	援助論Ⅲ	臨床での助産師経験を踏まえ、産褥期・新生児期の看護と褥婦のセルフケア能力の獲得と母子相互作用や愛着形成に向けた看護援助について教授する。	後期	1	30	講義・演習		
	統合分野	在宅看護論 概論	臨床経験を踏まえ、訪問看護の研修を受けた看護師が、在宅看護の目的と対象の特徴や生活を支える法律や制度について教授する。	前期	1	30	講義	
		援助論Ⅰ	臨床経験を踏まえ、訪問看護の研修を受けた看護師が、在宅療養者とその家族に対する日常生活援助と活用できる社会資源について教授する。	前期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅱ	臨床経験を踏まえ、訪問看護の研修を受けた看護師が、医療処置・管理を受ける在宅療養者の特徴と安全管理ができるような自立支援方法について、施設との違いを中心に教授する。	後期	1	30	講義・演習	
		援助論Ⅲ	訪問看護師と訪問看護の研修を受けた看護師が、在宅療養者の健康障害に応じた観察の視点と支援方法の実際について看護過程の展開の技法を用いて教授する。	後期	1	30	講義・演習	
		統合と実践Ⅱ	医療機関での看護師としての経験を踏まえ、医療事故が発生する要因は人間の特性であることを認識した上で、医療事故の特徴や予防方法、対応について看護師の責務を事例やロールプレイを用いて教授する。	後期	1	30	講義・演習	
		統合と実践Ⅲ	救急病棟での看護師経験と災害支援看護師としての経験を踏まえ、災害時に看護が果たす役割や災害サイクルについて教授する。海外での看護活動の経験のある看護師が、国際交流と協力の仕組みについて実体験をもとに教授する。	後期	1	30	講義・演習	
	計					30	840	
	3年	専門分野Ⅱ	成人看護学実習Ⅰ	急性期病棟での看護師としての臨床経験を踏まえ、周手術期の対象と家族への看護援助について指導する。	通年	3	135	実習
			成人看護学実習Ⅱ	医療機関での看護師としての臨床経験を踏まえ、慢性期または終末期の対象と家族へのセルフケアやターミナルケアの看護援助について指導する。	通年	3	135	実習
			老年看護学実習Ⅰ	医療機関での看護師としての臨床経験を踏まえ、老年期で病院での治療を受ける対象への、退院後の生活復帰に向けた看護援助について指導する。	通年	2	90	実習
老年看護学実習Ⅱ			医療機関での看護師としての臨床経験を踏まえ、老年期で施設で生活している対象がその人らしさを大切に生活を送れるような看護援助について指導する。医療機関において実務経験を有する看護師が担当する。	通年	2	90	実習	
精神看護学実習			精神科病棟での看護師としての臨床経験を踏まえ、精神に障害がある対象の理解と個別の生活障害に応じた看護援助について指導する。	通年	2	90	実習	
小児看護学実習Ⅰ			小児科外来、小児病棟での看護師としての経験を踏まえ、健康な小児の成長と施設に入所し健康障害を抱える児と家族への看護援助について指導する。	通年	1	45	実習	
小児看護学実習Ⅱ			小児科外来、小児病棟での看護師としての経験を踏まえ、健康障害をもつ小児と家族への看護援助について指導する。	通年	1	45	実習	
母性看護学実習			母子周産期病棟での臨床経験のある助産師が、妊娠・分娩・産褥期の母性および新生児と家族の健康の保持増進と親への適応過程の看護援助について指導する。	通年	2	90	実習	
統合分野		在宅看護論実習	医療機関での経験と訪問看護の研修を受けた看護師が、地域で疾患をもちながら療養する人の生活を理解した上で、社会資源の活用方法と保健医療福祉活動の中での看護師の役割を学べるよう指導する。	通年	2	90	実習	
		統合と実践Ⅰ	医療機関での経験を踏まえた看護師が、臨地実習の事例をもとに、自己の看護の振り返りを研究にまとめ、科学的思考能力を育成できるよう教授する。また、全学年参加の発表会で視聴覚資料を用いて発表する。	後期	1	30	演習	
		統合と実践Ⅳ	医療機関での経験を踏まえた看護師が、対象の状況に応じた看護が実践できるよう臨床判断能力試験を行い、看護実践能力の課題を明確にできるよう指導する。	前期	1	30	演習	
		統合実習	医療機関での経験を踏まえた看護師、助産師が既習の知識、技術、態度を統合させ、看護チームの一員としての基礎的実践能力を指導する。	後期	2	90	実習	
計					22	960		
総計					84	2775		